

「投資信託に関する意識調査」

2012年2月28日

日興アセットマネジメント株式会社

-
- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
 - 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。
 - 投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

アンケート実施概要

媒体：インターネット調査

実施期間：2011年12月22日～12月27日

対象者：全国に住んでいる「投信 ご意見番」の登録者570人

性別、年齢の内訳：

性別	男性	313人(55%)
	女性	257人(45%)
年齢	30代以下	180人(32%)
	40代	212人(37%)
	50代	110人(19%)
	60代以上	68人(12%)

•当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

•投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

•投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

今回の調査でわかったこと

- 回答者を現在の投資信託保有者(325名)、過去の投資信託保有者(57名)、投資信託以外の投資経験者(98名)、投資未経験者(90名)の4つのグループに分けた。
- 各グループの回答を比較すると、投資信託と関与が強ければ強いほど、投資に回してもいいと思う資産の割合が大きくなり、実際投資している資産の割合も大きくなる、つまり、投資により積極的になる傾向がある。
- 投資未経験者の投資しない理由について、「元本割れのリスクを冒したくないから」(41%)より「投資する資金がないから」(64%)と答えた人が多く、少額から投資できるということがあまり知られていないことがうかがえる。
- 余裕資金の投資対象については、投資信託・投資の経験を問わず貯蓄だけで満足できない気持ちが明らかになった一方、ハイリスクハイリターンの金融商品を選ぶ回答者の割合は低く留まった。リスクがある程度に抑えられている商品に高い興味を示している。
- 投資信託のリスクのイメージに関して、各グループとも「非常に高い」「やや高い」と考えている人が多数を占めている。特に投資未経験者のグループでは「非常に高い」と考える人が29%を占めて、最も高い。
- 投資信託のリスクが高いと考える一方、「日本長期国債と同じリスク率で、それよりも高いリターンを期待できる投資信託」について聞いたところ、各グループとも高い購買意欲を示した。余裕資金の投資対象に関する質問の結果と同じく、リスクを抑えて少しずつ増やしていける商品に投資家が強い興味を示していることが考えられる。

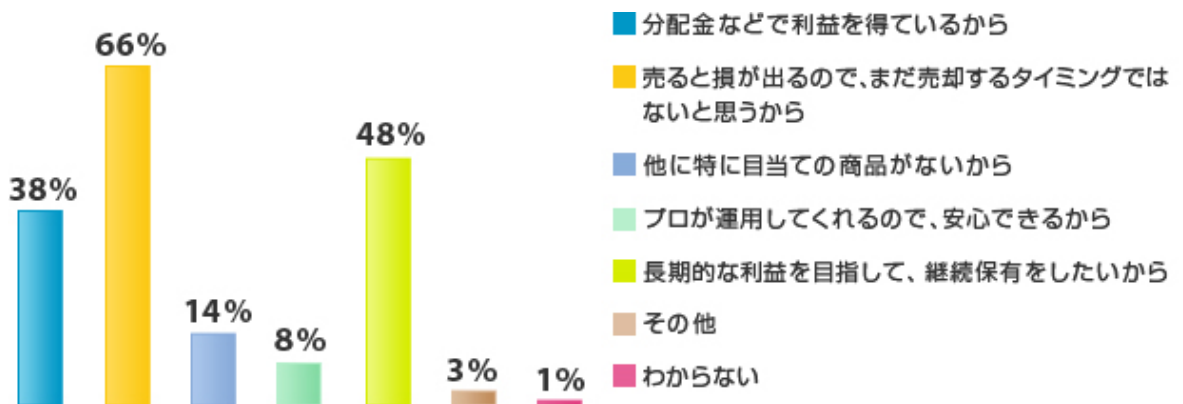
●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

現在の投資信託保有者に対する質問

投資信託を続けて保有している理由を教えてください。※複数回答可(325人)



- 現在の投資信託保有者の中で、継続保有する理由として、「売ると損が出るので、まだ売却するタイミングではない」というマーケット要因が最も選ばれている。
その次は「長期的な利益を目指して、継続保有をしたい」となり、長期目線で投資信託を保有している投資家が多くいることが考えられる。

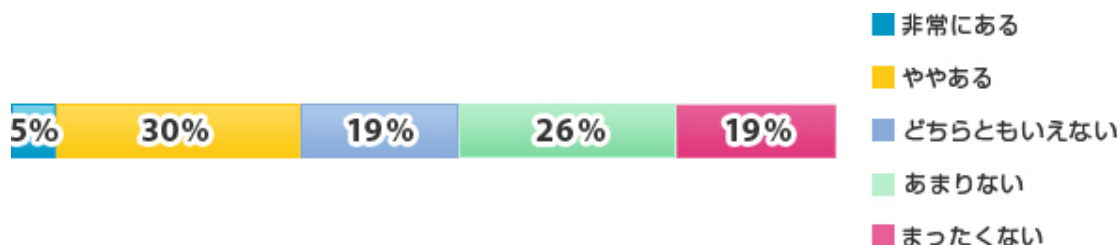
●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

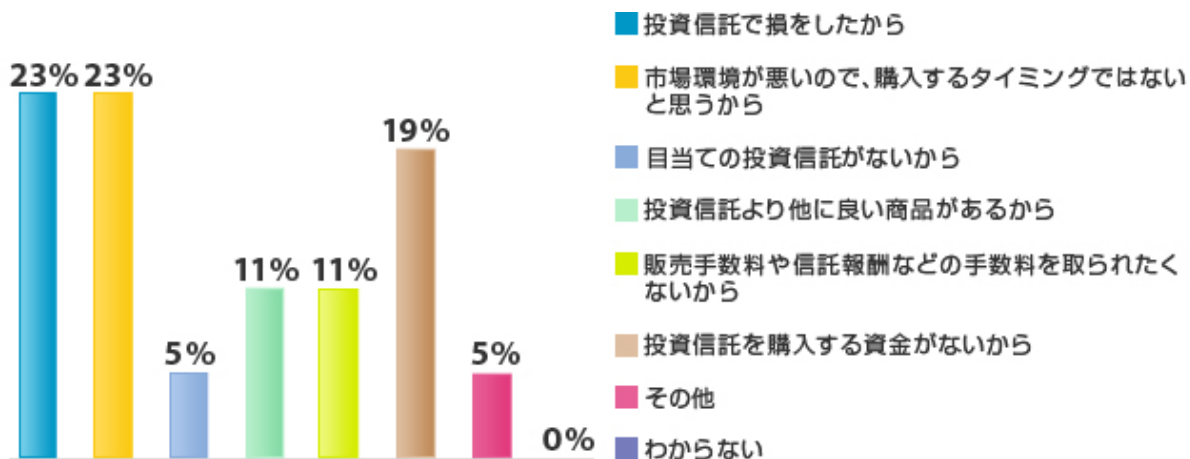
●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

過去の投資信託保有者に対する質問

投資信託を再購入する意欲がありますか？(57人)



(上記の質問で「あまりない」「まったくない」と答えた人のみ)再購入する意欲がない理由を教えてください。 ※複数回答可(26人)



- 過去の投資信託保有者の中で、再購入意欲が「あまりない」「まったくない」と答えた人の割合は「非常にある」「ややある」と答えた人の割合より多い。
- 購入意欲が「あまりない」「まったくない」と答えた人の理由として、「市場環境が悪いので、購入するタイミングではない」、「投資信託で損をしたから」が最も選ばれている。

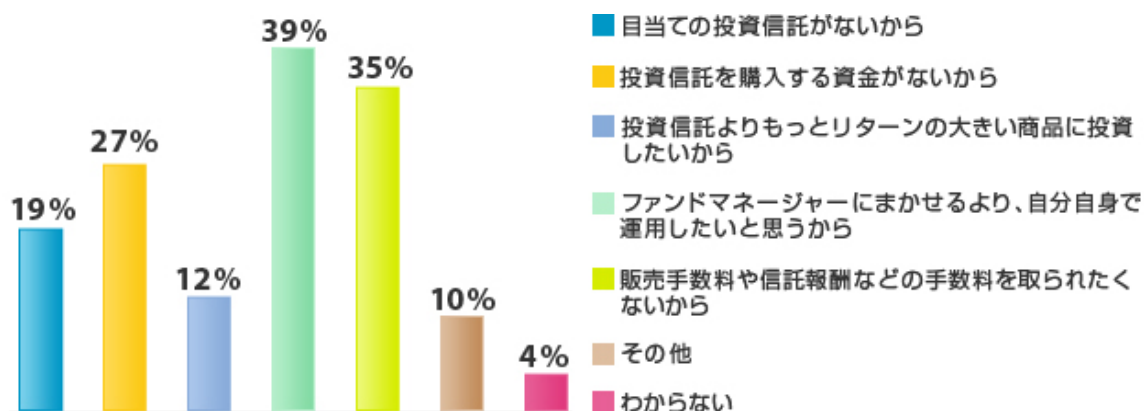
●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資信託以外の投資経験者に対する質問

投資信託よりも他の金融商品を選んだ理由を教えてください。※
複数回答可(98人)



今後、投資信託を購入してみたいと思いますか？(98人)



- 投資信託以外の投資経験者の中で、投資信託より他の金融商品を選んだ理由として、「ファンドマネージャーにまかせるより、自分自身で運用したい」が最も選ばれており、その次は「販売手数料や信託報酬などの手数料を取られたくない」である。
- また、投資信託を購入する意欲のない回答者の割合が、購入意欲のある回答者の割合を上回っている。

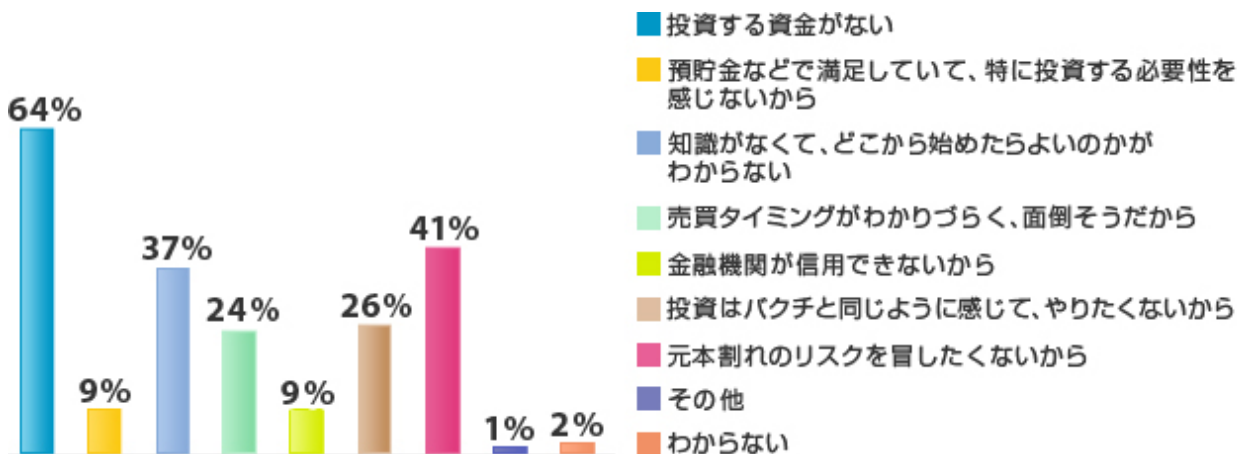
●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

投資未経験者に対する質問

これまで、投資をしなかった理由を教えてください。※複数回答可(90人)



今後、投資信託を購入してみたいと思いますか？(90人)



- 投資未経験者が投資をしない理由として、「投資する資金がない」が最も選ばれており、その次は「元本割れのリスクを冒したくない」である。
一方、「預貯金などで満足していて、特に投資する必要性を感じない」を選んだ人は少なく、預貯金だけで満足できない気持ちも浮きぼりとなる。
- 投資信託を購入する意欲のない回答者は購入意欲のある回答者を上回っている。

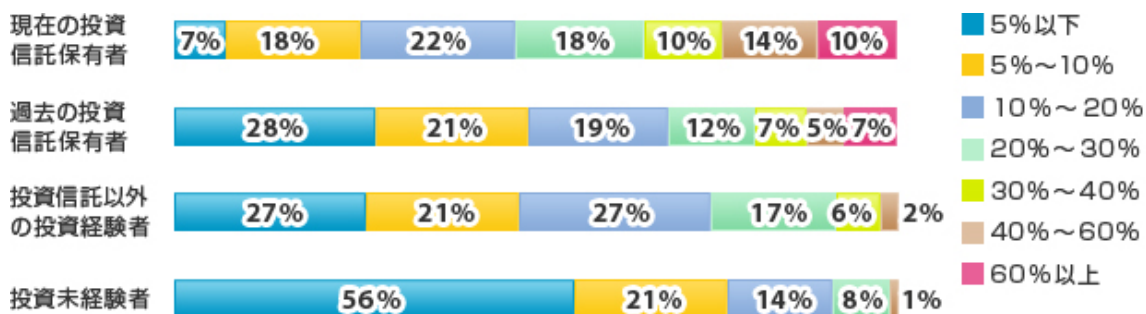
●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

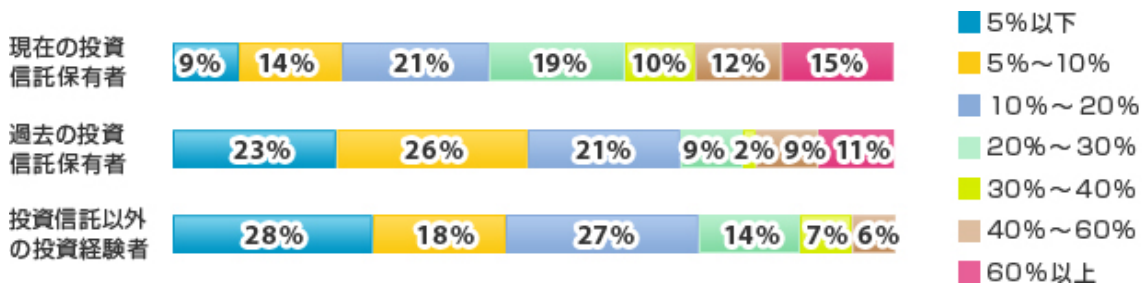
●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

全員への共通の質問

あなたの金融資産の中で、預貯金に回すより、投資に回してもいいと思う割合を教えてください。(570人)



あなたの金融資産の中で、実際投資したお金の割合を教えてください。(480人)



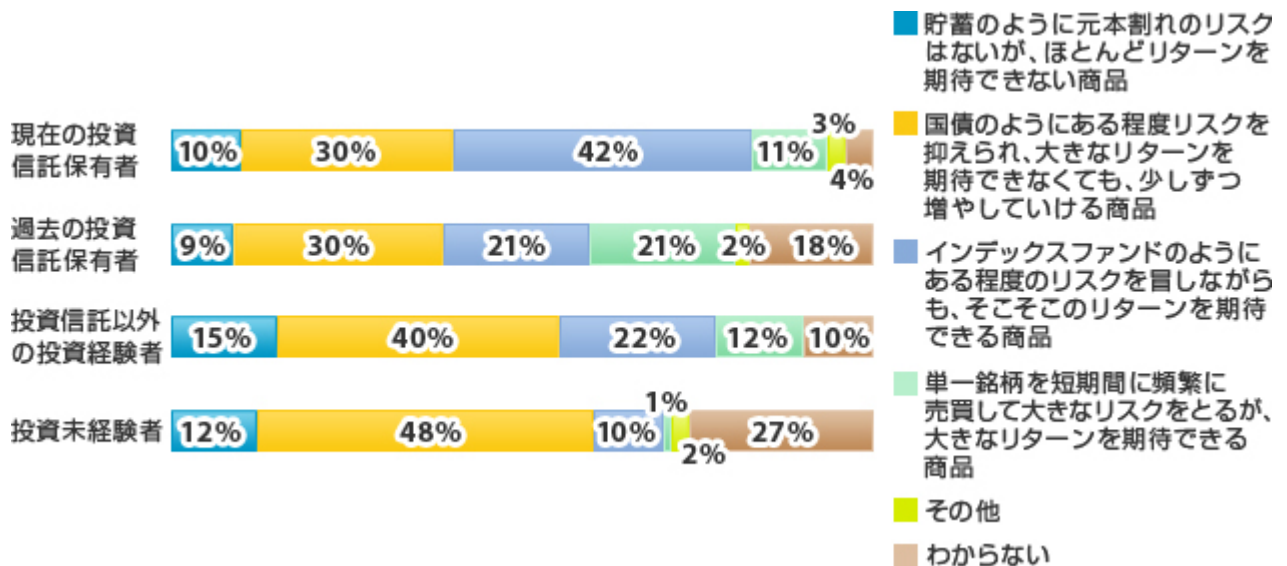
- 各グループの回答を比較すると、投資信託と関与が強ければ強いほど、投資に回してもいいと思う資産の割合が大きくなり、実際投資している資産の割合も大きくなる傾向がある。
- 投資未経験者の中でも、持っている金融資産の5%以上を投資に回してもいいと思う人が44%いる。

•当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

•投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

•投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

もしあなたの手元にしばらく使わない余裕資金があるとしたら、以下のどのような金融商品だったら投資してもよいと思いますか？※答えを一つ選んでください(570人)



- 余裕資金の投資対象について、各グループとも「貯蓄のような元本割れのリスクがないが、ほとんどリターンを期待できない商品」を選ぶ人の割合が小さい。貯蓄だけで満足できない気持ちを再び示している。

「国債のようにある程度リスクを抑えられ、大きなリターンを期待できなくても、少しずつ増やしていける商品」、「インデックスファンドのようにある程度のリスクを冒しながらも、そこそこのリターンを期待できる商品」を選ぶ人の割合が大きい。

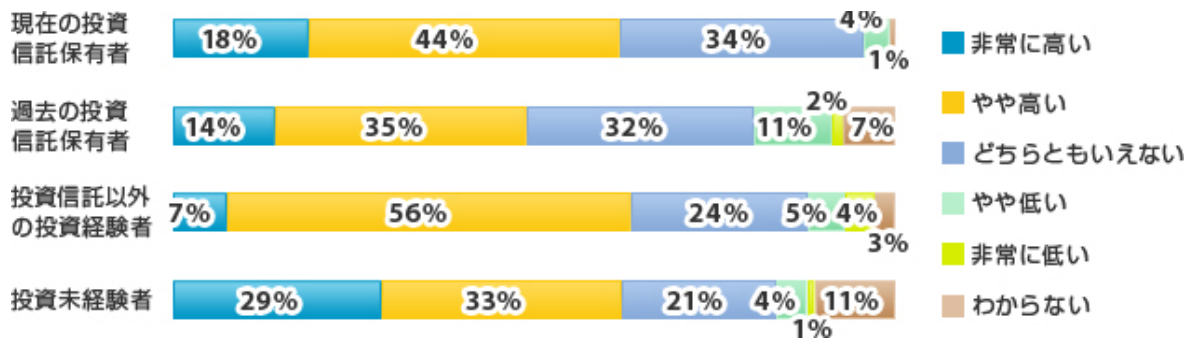
一方、ハイリスクハイリターンの「単一銘柄を短期間に頻繁に売買して大きなリスクをとるが、大きなリターンを期待できる商品」を選ぶ人が比較的少なく、大きなリスクを冒したくない心理を改めて確認できた。

●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

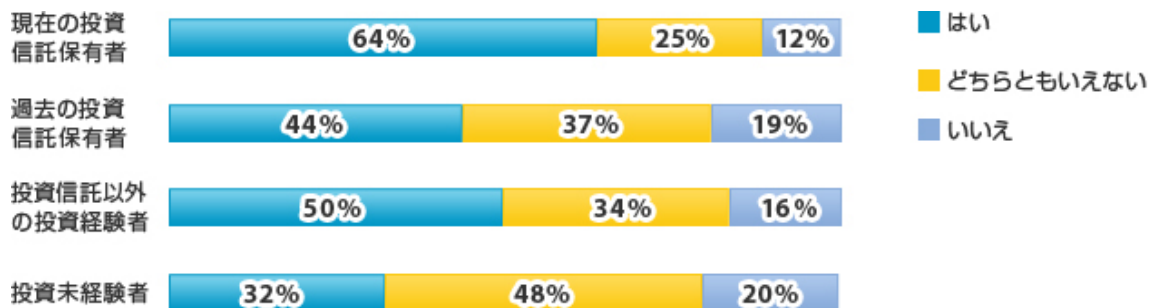
●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

あなたの投資信託のリスクについてのイメージを教えてください。
(570人)



日本長期国債と同じリスク率で、それよりも高いリターンを期待できる投資信託があれば、購入してみたいと思いますか？(570人)



- 投資信託のリスクについて、回答者は投信・投資の経験を問わず「非常に高い」「やや高い」と答えた人が多数を占めるが、投資未経験者の中で「非常に高い」と認識している人の割合が最も高い。
- 投資信託のリスクが高いと考える一方、「日本長期国債と同じリスク率で、それよりも高いリターンを期待できる投資信託」について聞いたところ、各グループとも高い購買意欲が示された。余裕資金の投資対象に関する質問の結果と同じく、リスクを抑えて少しずつ増やしていける商品に投資家が強い興味を示していることが考えられる。

●当資料は、日興アセットマネジメントが投資家の意見等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

●投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。

●投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

nikko am

www.nikkoam.com